

鳥獣被害防止総合支援事業及び鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業の評価報告(令和元年度報告)

1 被害防止計画の特徴等

ニホンジカ、ニホンザル、カワウ、イノシシ、タヌキ、ヌートリアを対象としており、鳥獣被害対策実施隊員による有害捕獲を積極的に実施する。また、生息環境管理として雑木林の刈払いを実施し、有害鳥獣が侵入しにくい集落づくりを実施する。

2 事業効果の発現状況

狩猟免許取得を推進したことで、免許取得者が増加した。また、捕獲技術に関する講習会を実施し、捕獲技術の向上が見られ、捕獲数が増加した。雑木林の刈払いなどの整備を行うことで、農地や集落への侵入防止に効果がみられた。

3 被害防止計画の目標達成状況

タヌキ、ヌートリアについては未達であったが、全体では達成できている。

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (構成市町名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績						事業実施主体の評価	第三者の意見
										被害金額(万円)			被害面積(a)				
										目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率		
小豆島町鳥獣被害防止対策協議会 (小豆島町)	小豆島町 全域	平成29年度	ニホンジカ ニホンザル カワウ イノシシ タヌキ ヌートリア	小型箱わなの購入	20基	小豆島町鳥獣被害防止対策協議会	平成30年1月	100%	わなの購入により、捕獲数の増加に結びついている。	297	169	211.2%	17.0	6.3	277.0%	猟友会、関係団体等と連携し、被害防止対策を実施している。狩猟免許取得者の増加や捕獲技術の向上により、捕獲数が増加している。被害は減少傾向にあるが、今後も引き続き対策を継続するとともに、侵入防止柵の点検・管理及び生息環境管理をバランスよく実施することが効果的と思われる。ヌートリアについては、捕獲圧を弱めるとまた、もともどってしまうので、継続的な捕獲体制が必要であると思われる。	
				中型箱わなの購入	10基		平成30年2月	100%									
				大型箱わなの購入	15基		平成30年1月	100%									
				くくりわなの購入	50基		平成30年2月	100%									
		平成29年度	ニホンジカ ニホンザル カワウ イノシシ タヌキ ヌートリア	狩猟免許試験予備講習会受講料補助	4名	小豆島町鳥獣被害防止対策協議会	平成29年8月 平成30年2月	100%	狩猟免許取得に要する経費を補助することにより狩猟免許取得者の増加につながる。								
				平成30年度	狩猟免許試験予備講習会受講料補助		7名	平成30年8月 平成31年2月		100%							
				令和元年度	狩猟免許試験予備講習会受講料補助		7名	令和元年8月 令和2年2月		100%							
		平成29年度	ニホンジカ ニホンザル カワウ イノシシ タヌキ ヌートリア	初心者狩猟講習会講師料	1回	小豆島町鳥獣被害防止対策協議会	平成29年10月	100%	初心者狩猟講習会を開催することで、鳥獣保護管理法等の遵守や捕獲技術の向上につながる。								
				平成30年度	初心者狩猟講習会講師料		1回	平成30年10月		100%							
				令和元年度	初心者狩猟講習会講師料		1回	令和元年10月		100%							
		平成29年度	ニホンジカ ニホンザル カワウ イノシシ タヌキ ヌートリア	雑木林の刈払い	W=5m L=600m	小豆島町鳥獣被害防止対策協議会	平成30年1月	100%	雑木林の刈払いを実施することで、農作物被害の軽減及び住宅地への侵入を防いでいる。								
				平成30年度	雑木林の刈払い		W=5m L=720m	平成31年2月		100%							
				令和元年度	雑木林の刈払い		W=5m L=420m W=10m L=135m	令和2年2月		100%							

注1:被害金額及び被害面積の目標欄については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載する。

2:業効果は記載例を参考とし、獣種等ごとに事業実施前と事業実施後の定量的な比較ができるよう時間軸を明確に記載の上、その効果を詳細に記載すること。整備事業を行った場合、捕獲効率の向上にどのように寄与したかも必ず記載すること。

3:「事業実施主体の評価」の欄には、その効果に対する考察や経営状況も詳細に記載すること。